

## 第1回特別史跡大坂城跡整備推進会議 議事要旨

### 1. 開催日時

令和7年9月17日（水）10時～12時

### 2. 開催場所

大阪市役所 5階大応接室

### 3. 出席者

【メンバー】北野氏、谷氏、中嶋氏、仁木氏、弘本氏、丸山氏

【オブザーバー】大阪府教育庁文化財保護課

大阪城パークマネジメント株式会社

【事務局】経済戦略局観光部 松本部長、宮本大阪城天守閣館長、金藏課長、  
内町課長代理、植木係長

建設局公園緑化部 竹野部長、房課長、木下課長代理、住吉課長代理、  
上西窪係長、國下係長

教育委員会事務局総務部文化財保護課 鈴木課長、宮本副主幹、佐藤主任

### 4. 議事

(1) 本会議について

(2) 短期整備事業計画について

(3) 管理運営に係る取り組みについて

(4) 金蔵周辺の園路舗装（脱色アスファルト）の整備状況と経過について

(5) その他

### 5. 議事要旨

(1) 本会議について

【事務局より】

「特別史跡大坂城跡整備基本計画」の策定に至るまでの検討経過、計画の目的、整備推進会議の立ち上げと会議の主旨を説明。

開催要綱をもとに会議で議論する事項、会議期間、任期の考え方について説明。

【メンバーの主な意見】

・全体会議は年に1，2度でもよいと思うが、個別相談もふくめて事業の計画段階から会議の場で議論ができるよう運営してほしい。

- ・当年度末には進捗状況や課題等を確認する会議を開き、また次年度には早期に会議を開催して事業を推進できるようにしてほしい。
- ・有識者や専門家の助言を得て計画にフィードバックすることと、その継続性を確保してほしい。

## (2) 短期整備事業計画について

### 【事務局より】

- ・短期整備事業計画の進捗状況、課題点、今後の予定について説明。
- ・各事業の令和6年度末までの進捗状況、課題点、今後の予定についての見通しなどを記載した資料を提示。このうち⑬ 内堀北東部水敲き石垣の修復、⑨ 旧第四師団司令部庁舎の改修、⑭ 極楽橋ライトアップ、⑱ 大手口における園内情報の発信の4事業について詳細説明を行う。

### 【メンバーの主な意見】

#### ⑬ 内堀北東部水敲き石垣の修復

- ・石垣が崩れる時には必ず素因がある。一つは沈下による石垣のゆるみと考えられ、他の場所でも同じように石垣のゆるみが生じていないか注意が必要。
- ・背面土流失の原因把握、大雨に対応できる排水対応について考えておく必要がある。
- ・水面下の石垣もチェックができるとよいが状況的に困難であり課題である。
- ・石垣の変位状態や、また長期的に確認が必要なものと突発的なものについては確認方法も異なるので一概には言えないが3年、5年、といった期間で継続的に確認していく必要がある。

#### ⑨ 旧第四師団司令部庁舎の改修

- ・どのような仕様で復旧を行うのか示してほしい。
- ・改修の計画段階からその内容を会議に提示しながら進めてほしい。
- ・今ある笠木を外して落ちない形で施工し、き損したところについては新たに焼成して似たようなものを付けるのか明らかにしてほしい。
- ・ミライザとしてオープンする前に細部に渡って耐震補強等がされ、剥落の確認などもしているはずだが、どうしてこうしたことが起きたのか不思議である。

#### ⑭ 極楽橋ライトアップ

- ・史跡全体の景観や人の動線を踏まえた計画の中でライトアップを考える必要がある。

- ・近年ライトアップの技術やデザインは進展がめざましく、コストを含め情報をアップデートして検討すべき。
- ・具体的にいつ頃の整備を想定しているか明らかにしてほしい。

⑱ 大手口における園内情報の発信（観光案内所の整備）

- ・閉鎖的な佇まいではなく、アプローチしやすく利用しやすいデザインであるべき。本設にも対応できる整備を考えているなら、理想的な位置、間取り、サービスやオペレーションの在り方からしっかり考えていく必要がある。
- ・観光案内所として広く認知されやすいデザインにすることも必要。このような施設群のデザイン的な統一をするのかしないのか考える必要がある。
- ・インフラ整備における課題等もあれば示してほしい。
- ・地下埋設はせずにトラフを置いてその中にケーブルを通す手法があるのでそういう対応もできるのではないか。
- ・ローソンとトイレの周辺（馬場町側）も景観や視認性の面では良いのではないか。

⑧ 重要文化財の消火設備の改修

- ・消火栓ボックスを改修する際には、景観的観点から重要文化財にふさわしい色を選択すべきであり、全体方針を共有する必要がある。

(3) 管理運営に係る取り組みについて

【事務局より】

「管理運営に係る取り組み」について、工程表と別添資料を基に説明。

R6年度末までに予定していた取り組みを実施した、②「乾櫓等の公開」⑥「ロードトレイン・エレクトリックカー等の景観への配慮」⑦「城内の回遊性向上」⑧「災害時に必要となる情報の周知」について取り組み状況を説明。

③旧第四師団司令部庁舎の文化財登録については、大坂城跡内に存在する他の戦争遺産も含め、これらの評価や取扱いを市としてどのように整理するか検討する必要があることを説明。

【メンバーの主な意見】

① 現存する歴史的建造物の維持管理計画について

- ・石垣調査の記載となっているが、この項目では建物の耐震調査をメインにすべきではないか。また、瓦や壁等の現状把握ができておらず、特に非公開の建物は内部

に入っているチェックもできていないと思われるので、それらも項目にあげておく必要がある。

#### ② 旧第四師団司令部庁舎の文化財登録について

- ・大坂城跡内の戦争遺産を包括的に評価した上で進めたい考えとのことだが、建造物は単体でも登録ができ、登録の後に史跡内の戦争遺跡として位置づけることもできると思う。
- ・包括的な評価も大事だと思うがミライザの改修は文化財登録を念頭に置いて行ってきたはずなので、スピード感をもってすすめてほしい。

#### ③ 植栽管理計画について

- ・大阪城公園全体の樹木をどのように管理するか長期的な観点も必要である。
- ・木の健全度よりも危険度を優先して把握する必要がある。
- ・石垣をき損している木を撤去しないと石垣が崩れる。
- ・公園の安全性から死角にも注意し、植物管理を考えるべき。
- ・計画策定にあたっては、専門家とも一緒に現地を見て、具体的な計画を考えてほしい。

#### ⑦ 城内の回遊性向上について

- ・これからの大坂城跡の楽しみ方を開拓し、城郭としての諸機能や歴史の重層性など、天守閣以外の見どころにも興味を持って回遊してもらえよう情報とサービスを組み合わせて提供していくと良い。
- ・関心を向けてもらうためには、情報をリアルタイムで迅速にアップデートしていくことが重要。
- ・大坂城ならではの歴史性を体感してもらえる、石垣館の集客の取り組みが重要でないか。
- ・さまざまな学びのニーズにきめ細かく対応できるよう、チケットのバリエーションがあっても良い。
- ・ホームページの多言語化対応も重要。

#### (4) 金蔵周辺の園路舗装（脱色アスファルト）の整備状況と経過について

##### 【事務局より】

- ・大阪城豊臣石垣館の工事影響範囲の園地復旧整備として施工した脱色アスファルト舗装整備にかかる経過とあわせ、文化庁より景観・質感の確保の点から、本丸広場の既存舗装と同じ仕様である「砂利入り脱色アスファルト」が望ましいとの指導

内容について説明。

- ・現状変更承認を受けた整備内容ではあるものの、既存の「砂利入り脱色アスファルト」とは異なる「脱色アスファルト」を使用することについて「方針確認」までには至っていなかったことから、今回、本件に係る経過と理由について報告し了承をいただきたい旨説明。

**【メンバーの主な意見】**

- ・脱色アスファルト舗装整備の経過と対応、整備後の景観、文化庁のコメントについて会議で確認し了承する。
- ・今後はこれをふまえて、史跡内の舗装材の変更にあたっては、個別場所単位ではなく史跡全体の舗装計画、動線計画の中で舗装材等を決定していく必要がある。
- ・寒冷地ほどではないが砂利入りの舗装は劣化しやすい。
- ・砂利入りといっても骨材（砂利）の流通状況等によって骨材は変わる。骨材が変われば色目、風合いも変わってくる。
- ・透水性舗装は検討しているか。樹木周辺まで舗装する場合、樹木の生育環境面で効果がある。

**【大阪府の主な意見】**

- ・史跡としての歴史的背景や景観をふまえたゾーニングで舗装計画を考えてほしい。

(5) その他

**【事務局より】**

- ・大阪城豊臣石垣館において公開している豊臣石垣について、文化財として適切な保存管理方法等について検討するため、専門的な知見を持つ外部有識者から意見を聴取する「豊臣石垣保存管理検討会議」を設置する旨説明。

**【メンバーの主な意見】**

無し

以上